

第11次静岡県職業能力開発計画(2022年度～2026年度)の概要

職業能力開発をめぐる社会状況の変化

社会経済の流動化

- 第4次産業革命(IoT、AI、ロボットなど)の進展
 - ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット技術の活用
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
 - ・デジタル技術を活用した変革
- 人生100年時代の到来
 - ・職業人生の長期化(定年延長、継続雇用)
- 労働雇用環境の変化
 - ・終身雇用の見直し、働き方の多様化、労働移動

本県の状況

- 製造業を主体とした全国有数の「ものづくり県」
 - ・県内製造品出荷額等・製造業従業者数全国3位
 - ・県内総生産の約4割が製造業

第4次産業革命による大きな影響

- 新型コロナウイルスの影響による雇用環境の変化
 - ・有効求人倍率低下から改善傾向[R2:0.97倍→R3.7月1.22倍]
 - ・一部の業種における極端な人材不足
 - 介護、福祉、建設
 - [R3.7月有効求人倍率:介護4.22倍、福祉3.55倍、建設6.27倍]
- 人口減少、首都圏への人口流出が継続
 - ・H20年の379万7千人をピークに減少、360万人割れ目前
 - ・生産年齢人口が25年間で35万5千人減少(H2～H27)
 - [H27生産年齢人口217万5千人、全国10位]
 - ・人口流出継続[R1転出超過数4,395人、全国9位]

- ◇女性
 - ・若年女性の県外流出(20-24歳女性の減少数が男性の3倍)
 - ・非正規雇用(女性就業者の4割が非正規)

- ◇障害のある人
 - ・障害者雇用率は増加傾向2.19% [R2:全国2.15%]
 - ・法定雇用率達成企業52.3% [R2.6月:全国48.6%]

- ◇外国人
 - ・全国7位の労働者数
 - ・海外高度人材の来静(モンゴル国等との交流)

多様な人材の活躍促進

- 新しい生活スタイル(Uターン、移住)促進
 - ・移住希望者全国1位(ふるさと回帰支援センター調べ)

学び直しの場の提供

計画のねらい

富国 有徳の
「美しい“ふじのくに”」づくり
～学んでよし 働いてよし～

「誰一人取り残さない」
SDGsのモデル県を目指す

計画の方向性

技術革新に対応した
職業訓練の高度化

誰もが活躍できる
環境づくり

誰もが新たな分野で
学習できる環境づくり

計画の柱

1 社会の変化に対応できる能力の習得

- 第4次産業革命に伴う技術革新に対応できる人材の育成
 - ・工科短期大学校の人材育成
 - デジタル化に対応できる技術の習得 (CAD/CAM/CAE、ロボット制御、IoT、クラウドなど)
 - 生産設備自動化・省エネルギー推進 (生産ライン自動制御、再生可能エネルギーなど)
 - ・デジタル化等関連分野の在職者訓練の拡充
 - デジタル技術・成長産業分野 (3DCAD、CAM、CAE、5軸等のマシニングセンタ、IoT、ロボット、新素材など)
 - ・地域ものづくり人材育成センター
 - 企業・団体の相談に応じ、生産性向上に対応したオーダーメイド型研修等の実施
- 高度な専門人材の育成
 - ・農林環境専門職大学、静岡社会健康医学大学院大学などにおける人材育成、県内公立大学等の連携
 - ・リカレント教育(学び直し)(高等教育機関におけるリカレント教育の充実)

2 現場主義に徹した人材育成

- 現場を重視した学習機会の提供
 - ・児童や生徒が企業等から学ぶ機会の提供(職場見学、職場体験)
 - ・学生等が就職する企業の姿を知る機会の提供(インターンシップ、企業実習付き職業訓練)
 - ・在職者が現場を通して先端技術を学ぶ機会の提供(他社の現場での職業訓練、認定職業訓練)
 - ・経済界・産業界と協した職業能力開発の推進(先端企業や金融機関との連携協定締結)
 - ・技術・技能を持った企業OBや在職者を工科短期大学校・技術専門校に講師として招へい

3 技術・技能を尊重する社会の実現

- 技術・技能を尊重する機運の醸成
 - ・子ども、若者の勤労観・職業観の醸成(WAZAチャレンジ教室)
 - ・技能者の技能レベル・社会的評価の向上(現代の名工の周知、技能マイスターの認定・派遣、ものづくり競技大会の開催)
 - ・企業の技能継承に向けた取組への支援(在職者訓練や技能検定などの職業能力評価制度の推進)

4 多様な人材が能力を発揮できる環境づくり

- 全ての方の希望やニーズに対応した能力開発
 - ・誰もが学びたいときに学べる環境づくり(学卒者・離職者・転職者を対象とした職業能力開発)
 - ・女性の就労支援(託児サービス付き職業訓練、工科短期大学校等への入校促進)
 - ・障害のある人の就労支援(働く職場を体験し一般就労を目指した実習付き職業訓練)
 - ・外国人の就労支援(日本語能力に配慮した職業訓練、外国人技能実習生日本語講座、海外合同面接会)

5 ライフコースの多様化に対応した職業能力の開発

- 生涯学習と生涯教育の場、再チャレンジの環境整備
 - ・小学校・中学校(基礎教育と情操教育)、高校(職業観を醸成)→WAZAチャレンジ教室、技能マイスター出前講座
 - ・高校卒業後(大学等で学術的・専門的内容の知識・技術の習得)→大学、専門学校、職業能力開発施設
 - ・在職期(業務に必要な知識・技能の習得)→在職者訓練、各種セミナー
 - ・転職、復職期(転職・復職に必要な知識・技能の習得)→離職者訓練
 - ・定年後(培った知識・技能を活かして社会に貢献)→再雇用、雇用延長、離職者訓練、就業セミナー
 - ・学び直し(誰もが等しく教育を受けられる機会の確保)→中学校夜間学級(夜間中学)の設置
 - ・リカレント教育(学び直し)(高等教育機関におけるリカレント教育の普及)→県内大学等人材育成講座の情報発信